



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年11月4日

上場会社名 森尾電機株式会社 上場取引所 東
コード番号 6647 URL <http://www.morio.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）堺 又一
問合せ先責任者（役職名）専務取締役（氏名）今井 健之 (TEL) 03(3691)3181
四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第2四半期の業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第2四半期	3,593	—	162	—	166	—	197	—
23年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	14.35	—
23年3月期第2四半期	—	—

※当社は平成23年3月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成23年3月期第2四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載していません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年3月期第2四半期	5,621	2,866	51.0
23年3月期	5,978	2,763	46.2

（参考） 自己資本 24年3月期第2四半期 2,866百万円 23年3月期 2,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

（注） 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	6,700	△6.8	170	△51.1	160	△55.3	150	18.8	10.90

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期2Q	14,250,000株	23年3月期	14,250,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	490,078株	23年3月期	489,680株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	13,760,093株	23年3月期2Q	13,762,458株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、前事業年度に唯一の連結子会社でありました上海森尾電器有限公司の解散決議を行い第1四半期会計期間において清算結了いたしており、第1四半期会計期間において連結財務諸表非作成会社となりました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により大きな被害を受けたサプライチェーンの立て直しを背景に、企業の生産活動は回復しつつあるものの、電力供給制限や欧州の金融不安による円高・株安の進行等の影響により、依然として景気の先行きは不透明な状態が続いております。

このような経営環境のもと、当社は積極的な受注活動を展開した結果、当第2四半期累計期間のうち、売上高は35億93百万円となり、受注高は40億52百万円となりました。

セグメント別業況は、次のとおりであります。

[鉄道関連事業]

主力の鉄道関連事業につきましては、国内通勤近郊電車用や新幹線車両用電気機器等の売上が順調に推移し、売上高は31億43百万円となり、受注高は鉄道会社等よりの新幹線車両用電気機器及び新型車両等の受注を中心に、33億26百万円となりました。

[自動車関連事業]

自動車関連事業につきましては、各高速道路会社等に対し車載標識車を中心とする受注活動を積極的に展開した結果、売上高は2億97百万円となり、受注高は5億21百万円となりました。

[船舶等関連事業]

船舶等関連事業につきましては、防衛省関連等への出荷が一巡し、売上高は1億7百万円となりましたが、受注高は2億4百万円となりました。

[不動産関連事業]

不動産関連事業につきましては、各賃貸マンションが安定的な売上を維持しており、売上高は45百万円となりました。

収益面につきましては、納期確保のための人員補充及び外注拡大による外部支払費用等が増加したものの、売上高の増加に伴う利益の増加及びコスト削減効果等により、当第2四半期累計期間の営業利益は1億62百万円、経常利益は1億66百万円となりました。また、繰延税金資産計上等の影響もあり、当第2四半期累計期間の四半期純利益は1億97百万円となりました。

なお、当社は、前第2四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を作成しておりましたが、平成23年6月17日付で連結子会社上海森尾電器有限公司が清算終了したため、前第2四半期累計期間との比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ16百万円減少し、38億12百万円となりました。これは、主として現金及び預金が83百万円増加、繰延税金資産が56百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が71百万円減少、たな卸資産が75百万円減少したこと等によります。

当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べ3億40百万円減少し、18億8百万円となりました。これは、主として投資その他の資産のその他のうち、上海森尾電器有限公司の清算に伴い関係会社出資金が2億74百万円減少したこと等によります。

この結果、当第2四半期会計期間末における総資産は、56億21百万円となり、前事業年度末に比べ3億57百万円の減少となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ3億29百万円減少し、22億2百万円となりました。これは、主として短期借入金が60百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が1億44百万円減少、未払法人税等が1億30百万円減少、上海森尾電器有限公司の清算により前事業年度に計上した清算損失引当金が75百万円減少したこと等によります。

当第2四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末に比べ1億31百万円減少し、5億52百万円となりました。これは、主として長期借入金が90百万円減少したこと等によります。

この結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は27億54百万円となり、前事業年度末に比べ4億60百万円の減少となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における株主資本は、前事業年度末に比べ1億28百万円増加し、27億84百万円となりました。これは、利益剰余金が1億28百万円増加したこと等によります。

当第2四半期会計期間末における評価・換算差額等は、前事業年度末に比べ25百万円減少し、82百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が25百万円減少したことによります。

この結果、当第2四半期会計期間末における純資産合計は28億66百万円となり、前事業年度末に比べ1億3百万円の増加となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ83百万円増加し、4億82百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は49百万円となりました。この主な要因は、収入については、税引前四半期純利益1億60百万円、売上債権の減少額71百万円、たな卸資産の減少額75百万円等であり、支出については、仕入債務の減少額1億44百万円、法人税等の支払額1億54百万円等により、キャッシュ・フローが増加したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は1億58百万円となりました。この主な要因は、収入については、子会社の清算による収入1億93百万円等であり、支出については、有形固定資産の取得による支出33百万円等により、キャッシュ・フローが増加したことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億24百万円となりました。この主な要因は、収入については、短期借入金の純増加額60百万円であり、支出については、長期借入金の返済による支出1億10百万円、配当金の支払額68百万円等により、キャッシュ・フローが減少したことによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点においては、平成23年8月5日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。今後、修正が必要と判断される場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社における、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品の評価方法は、従来、主として最終仕入原価法によっておりましたが、新会計システムの導入を行ったことを機に、より期間損益計算の適正化を図ることを目的として、第1四半期会計期間から商品及び製品、仕掛品は個別法に、原材料及び貯蔵品は総平均法に変更しております。当該会計方針の変更は、システムの対応が不可能なため、前事業年度末の商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品の帳簿価額を当事業年度の期首残高として、期首から将来にわたり個別法、総平均法を適用しております。

これにより、従来の方と比べて、当第2四半期会計期間末における商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品が2,869千円減少し、当第2四半期累計期間の売上原価が同額増加しており、その結果、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益が同額減少しております。

(追加情報)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	638,562	722,403
受取手形及び売掛金	1,653,191	1,581,613
商品及び製品	206,152	308,198
仕掛品	894,079	687,569
原材料及び貯蔵品	421,186	449,881
繰延税金資産	—	56,960
その他	15,996	5,548
流動資産合計	3,829,168	3,812,175
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,943,837	1,952,962
減価償却累計額	△862,278	△893,685
建物(純額)	1,081,558	1,059,276
土地	38,109	38,109
その他	537,207	550,828
減価償却累計額	△414,808	△426,678
その他(純額)	122,398	124,150
有形固定資産合計	1,242,067	1,221,535
無形固定資産	49,457	40,349
投資その他の資産		
投資有価証券	513,131	477,066
その他	348,657	73,571
貸倒引当金	△3,600	△3,600
投資その他の資産合計	858,188	547,037
固定資産合計	2,149,714	1,808,923
資産合計	5,978,882	5,621,099

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,554,789	1,409,907
短期借入金	240,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	213,607	193,609
未払法人税等	154,448	24,276
賞与引当金	130,000	132,000
役員賞与引当金	18,000	—
清算損失引当金	75,577	—
その他	145,049	142,588
流動負債合計	2,531,471	2,202,380
固定負債		
長期借入金	517,350	427,218
繰延税金負債	55,701	45,184
退職給付引当金	1,417	—
その他	109,720	80,046
固定負債合計	684,188	552,449
負債合計	3,215,660	2,754,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,048,500	1,048,500
資本剰余金	897,272	897,272
利益剰余金	779,397	908,039
自己株式	△69,546	△69,593
株主資本合計	2,655,624	2,784,219
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	107,598	82,049
評価・換算差額等合計	107,598	82,049
純資産合計	2,763,222	2,866,268
負債純資産合計	5,978,882	5,621,099

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	3,593,722
売上原価	2,941,942
売上総利益	651,780
販売費及び一般管理費	489,298
営業利益	162,482
営業外収益	
受取利息	200
受取配当金	5,351
雑収入	7,287
営業外収益合計	12,839
営業外費用	
支払利息	8,871
雑損失	1
営業外費用合計	8,873
経常利益	166,447
特別損失	
固定資産除却損	0
子会社清算損	5,367
ゴルフ会員権評価損	600
特別損失合計	5,967
税引前四半期純利益	160,480
法人税、住民税及び事業税	19,997
法人税等調整額	△56,960
法人税等合計	△36,963
四半期純利益	197,443

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	160,480
減価償却費	65,021
固定資産除売却損益(△は益)	0
ゴルフ会員権評価損	600
子会社清算損益(△は益)	5,367
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,417
受取利息及び受取配当金	△5,552
支払利息	8,871
売上債権の増減額(△は増加)	71,578
たな卸資産の増減額(△は増加)	75,768
その他の資産の増減額(△は増加)	10,433
仕入債務の増減額(△は減少)	△144,882
未払消費税等の増減額(△は減少)	13,216
その他の負債の増減額(△は減少)	△35,855
小計	207,631
利息及び配当金の受取額	5,552
利息の支払額	△9,094
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△154,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,527
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△240,000
定期預金の払戻による収入	240,000
有形固定資産の取得による支出	△33,621
無形固定資産の取得による支出	△1,761
保険積立金の積立による支出	△21,555
保険積立金の解約による収入	9,477
保険積立金の払戻による収入	12,000
子会社の清算による収入	193,906
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	158,396
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	60,000
長期借入金の返済による支出	△110,130
リース債務の返済による支出	△5,546
自己株式の取得による支出	△46
配当金の支払額	△68,359
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,082
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	83,841
現金及び現金同等物の期首残高	398,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	482,403

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	鉄道 関連事業	自動車 関連事業	船舶等 関連事業	不動産 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	3,143,527	297,232	107,164	45,798	3,593,722	—	3,593,722
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,143,527	297,232	107,164	45,798	3,593,722	—	3,593,722
セグメント利益	158,654	12,876	43,152	28,149	242,833	△80,351	162,482

(注) 1. セグメント利益の調整額△80,351千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△80,351千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
鉄道関連事業	3,117,788	—
自動車関連事業	266,721	—
船舶等関連事業	103,893	—
合計	3,488,404	—

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
鉄道関連事業	3,326,885	—	6,528,877	—
自動車関連事業	521,805	—	394,900	—
船舶等関連事業	204,120	—	235,930	—
合計	4,052,810	—	7,159,708	—

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
鉄道関連事業	3,143,527	—
自動車関連事業	297,232	—
船舶等関連事業	107,164	—
不動産関連事業	45,798	—
合計	3,593,722	—

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
三菱電機㈱	—	—	741,845	20.6
東海旅客鉄道㈱	—	—	655,722	18.3
東日本旅客鉄道㈱	—	—	474,888	13.2
西日本旅客鉄道㈱	—	—	374,267	10.4

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

以上